

2026年度 一般入試Ⅱ期(3/6) 試験問題

国 語

〔60分〕

- 注 意**
1. 試験開始の合図があるまでこの冊子は開いてはいけません。
 2. この冊子は21ページあります。ページの脱落や解答用紙の汚れがあった場合には、監督者に申し出てください。
 3. 問題冊子には受付番号を記入してください。
 4. 解答は解答用紙の解答欄にマークしてください。
 5. 問題冊子は持ち帰ってもかまいません。

マーク式解答用紙の記入上の注意

1. 解答用紙はすべてHBの黒鉛筆で記入してください。

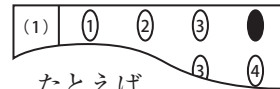
2. マークの記入方法

「正しい例」



「悪い例」

- うすい (light gray oval)
- ほそい (thin oval)
- 短い (short oval)
- はみだし (oval with a tail)



たとえば
解答欄(1)に4と
解答する場合、
正確にマークして
ください。

3. 訂正するときは消しゴムでいねいに消し、消しくずを残さないでください。
右図のように×印をつけても消したことはありません。
また指定欄以外には何も記入しないでください。



- ◎ 解答用紙には受付番号と氏名を記入してください。
受付番号は左端から記入し、受付番号欄のマーク欄にも必ずマークしてください。
- ◎ 受付番号を正しくマークしていない場合、採点できないことがあります。

受 付 番 号

受 付 番 号

選考名	一般入試Ⅱ期
科 目	国語

出題の意図

大学入学後の多様な学びに必要な基礎的な国語力を習得しているかを確認するため、松村栄子『ひよっこ茶人、茶会へまいる。』（3700字程度）、伊藤恭彦『さもない人間—正義をさがす哲学—』（2,300字程度）を出題しました。正確に読むために必要な語彙力（漢字、接続詞、語の意味など）、本文の論旨を理解する読解力（部分把握、全体把握）が備わっているかを測りました。

一、次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

わたしが住むのは京都とは言ってもニュータウンの一画で、遠くの人々が想像するような京情緒にあふれた町ではない。それでも緑化セイ策^aは行き届いていて、春の桜も秋の紅葉もわざわざ乗り物で名所へ出かけるまでもなく堪能することができ。家に閉じこもる日が長くなると、ときどきふらりと散歩にでかけていく。

家のすぐそばを小畑川^{おまたがわ}が流れている。亀岡の老ノ坂^{おいのさか}峠^{たが}のあたりから発して洛西^{らくさい}を抜け、山崎近辺で桂川とともに淀川に合流する。さほど大きな川ではないけれども、その昔、都のあつた長岡京をウルオ^xしていたのだと思う。

この川沿いに桜の樹が植えられていて、春には見事な花のトンネルをつくる。その頃は近所のひとでやや賑わうものの、それ以外の季節は犬と散歩するひとがぼつり^アぼつりいるくらいだ。このあたりのベンチに坐^{すわ}ってぼおっとしているのが好きだ。

その日もぼんやりこのあたりを歩いていた。桜の枝が一本足下に落ちていた。枯れて落ちたわけではないらしく、手で折られたあとがある。見上げるとそれはこのあたりに一本だけある紅枝^{べにし}垂^だれの下だった。多分、委託された業者があたりの並木の剪定^{せんてい}をしていて、しかし個人宅の植木のように丁寧^{のこ}に鋸で切ったりするのではなく、手折^{たお}れる枝は A と折って行ったのだろう。折って落とした枝を片づけたあとから、途中で引つかかっていたか何かした枝がぼとりと地面に落ちたのだろう。そんなふうに思われた。 あ

どうして地面に落ちている枝に目を留めたのかと言えば、「なんだか茶杓ちやしゃくになりたそうな形をしているな」と感じたからだ。太さといい、枝分かれしているあたりのカーブといい、ちょうどよさそうだ。たしか、お茶杓の素材は竹とは限らず、イチイの木や松の枝、桜などで作られたものもあると以前に聞いた。だったらこれを削ってみようか？

茶杓とはお茶の粉をすくう細長い匙さじのことで、今日こんにちなかなかそこまでするひとは少ないけれども、本来は茶会ごとに亭主自ら新しく削るべきものらしい。どうやって削るかというのと、まず竹を裂き適当な大きさにして荒曲げする。

B、お茶がのる部分のカーブをあらかじめ取っておくわけだ。これが難しい。竹は「ま・つ・す・ぐ」が僕の信条しんぎょうです」と主張している。これを無理矢理曲げてやらねばならない。

い

ぐつぐつ煮て竹を柔らかくしながら熱湯の中で曲げるとか、蠟燭の火の上であぶりながら曲げるとか、素人には容易ならざる作業がある。自分でしようと思うとかなり大ごとなのだ。

しかし、この桜の枝ならすでに曲がっている。このカーブを生かせば煮たり焼いたりする必要はなさそうだな。なんにせよタダなのだから、もらっていつてひとつ試してみしよう。おもむろおもむろに拾ウって家へ帰ったのである。

桜の木肌は黒っぽくて少しぐつぐつしている。できればこの表皮はそのまま生かしたいと思った。だから枝の真中ではなく皮に近いほうを残して削り出す。

う

削り始めてハタと気づいた。桜というものは固いものである。竹だって固いけれども、竹の場合は繊維に沿って刃物を当てればおとなしく裂けていく素直さがあった。

桜はそうではない。めくれたり裂けたりはしない。桜の枝を茶杓にするのは削る・という風情ある作業ではなくて掘り出す・作業なのだと思える。彫刻だ。カッターナイフや小刀では C が立たない。なるほどそうかと頭を切り換え、彫刻刀を買いにゆく。彫刻刀などを握るのは何十年ぶりだろう。そういえば棟方志功の版本も桜じゃなかったつけ、などと考えながらひたすら枝を細くしていくと、それでなんとか茶杓らしきものができた。あまり格好よくはないが、まあ初めての試みだしこんなものだろうと思う。

折からMLで茶杓展が企画されていた。茶杓を削るひとがとも増えたのでどうせならみんなが削った茶杓を見せ合って、それをダシに盛り上がるんじゃないかと、東京の池上梅園のお茶室を借りて、展示会と茶会をモヨオすという。

この話を初めて聞いたときは、ML茶人ののめり込みやすさとか、企画力、D にやたらと驚いて、すごいなあと感心しはしても、自分に関わりのあることとは思っていなかった。なのに、思いがけず茶杓が一本できあがってみると欲が出て、東京まで行けないこの身に代わって茶杓だけでも参加させてもらえないだろうか……という方向に気持ちがあぐつと傾いてきた。

それにしても E である。枝のしなりそのままにくね々と曲がっているし、これだけ見たら子供の工作みたいだ。人前に出すなら、もう少し格好がつかないものだろうか。そう考えて筒を誂えてやることにする。どんなつまらないものでも立派な容器に入れば格は上がる。そうだ、この前、道具屋さんで買ってきておいた竹筒

があるではないかと思い出し、これに茶杓を入れてみる。

しっくりこない。

竹の筒に桜の茶杓を入れても質感が F で、どちらも居心地いこちよさそうではない。茶杓の筒には ともづつ〈共筒〉が望ましい。同じ一本の竹から取った茶杓と筒なら色合いもしっくり合って収まりがいい。それが無理でも、せめて同じ材質のほうがよい。白竹には白竹の筒、すすたけ煤竹には煤竹の筒、桜には桜の筒……。

桜の筒……作れるだろうか。

言うまでもないことだけれども、竹は天然の状態で中が空洞になっている。節もある。この空洞と節を利用して、筒にする。直径三センチくらいの太さで、節と節の間がお茶杓の長さ分あるようなところを上手く切れば、節を底にした茶杓ケースになってしまう。あとは蓋だけつけてやればよい。

桜に空洞はない。中身みっしりだ。これを筒にするには中をくり抜いてやるしかない。けれども直径三センチ長さ二十センチあまりの桜の枝を縦にくり抜くなどということは特殊な工作機械でもない限り不可能であることはわたしにもわかる。すると、横にくり抜くしかない。適当な枝を見つけたら、縦割りにする。一方を蓋ということにして、もう一方の中身をせつせと彫り込み茶杓が入る空間を作る。蓋をかぶせたら紐ひもか何かで結ぶようにすればいいだろう。よし、これで行こう。

自転車でもた小畑川のほうへ行く。前に枝を拾った紅枝垂れの下には小枝しかなかった。地面を見ながらゆっ

くり川沿いを走り、橋を渡る。対岸にも遊歩道を兼ねた細長い公園がある。桜並木がある。こちらの並木の剪定はつい最近したようだ。枝がたくさん落ちている。二、三日雨の降った記憶はないから腐っているおそれはない。路面ばかり見ながらのんびり自転車をこいでいると、やや太めの枝が前方に落ちているのに目が留まる。まるでわたしが来るのを待っていたかのように横たわっている。近づいてサドルの上からしばらく眺める。下のほうがやや節くれだっている。ここを生かせばけっこう味わい深いのではないだろうか。してみると、わたしにもへ味わいなるものが少しはわかってきたのか。くだらぬことを考えつつ枝を拾い上げる。「うちに来る？」と尋ねると「行ってもいい」と答えたので籠に乘せて連れ帰る。

家に帰り、ちよつと洗う。節くれを残して適当な長さに鋸で切る。さて、縦に切り分けるにはどうしたらよいだろう。糸鋸を当ててみるが C が立たない。「鑿^のだ^みな」と思い、鑿^のを買いにゆく。こんなものを使うのは生まれて初めてだ。お店に並ぶ無数の鑿^のを眺めてやや途方に暮れる。いったい何がどう違うのかわからない。いくら説明を読んでもわからないので、大きからず小さからずというところを買ってきて、ええい、ままよ、と枝に当て金槌^{かなづち}で叩くと、かなり不均等ではあったものの、^エかろうじてふたつに割れた。 え

今度は彫刻刀で中を穿^うっていく。これはわりとやさしい。 G 彫りすぎて皮まで穴を空けぬよう気をつける。ときおり茶杓を入れてみて大きさを見る。蓋のほうも少し彫らないと収まらないようだ。茶杓は曲がっている、思ったより大きく穿^うってやらねばならなかった。彫った底の面を磨いてなめらかにする術^{すべ}も工夫すれば

あるような気はしたけれども、やりすぎて失敗してはつまらないし、かなり疲れてもきたので、すべては〈味わい〉ということにして刃跡が残るくらいでやめておく、どうにか、茶杓が収まるだけの窪みができた。

そこに細い茶杓を寝かせて蓋をする。ふたつに割ったときのぎざぎざした縁^{ふち}が上下びったり重なると、元の一本の枝に見える。ただの枝の切れ端で、中に何かが入っているようには到^bテイ見えない。してや^②ったりである。

木屑や刃物を片づけて、桜の筒をテーブルに置きしばらく眺めていた。筒にするための枝を拾ったあたりから、わたしはこの枝たちに意志の^③ようなものを感じ始めていた。ぽきりと折られ、道ばたに転がっていた変哲もない桜の枝。決して普段から茶杓作りに熱中しているわけでもないわたしが、そこにお茶杓の形を見たのはなぜだったのだろう。それも H な竹ではなく、桜の枝などに。一方を川のこちら側で拾い、もう一方を川の間こう側で拾ったのはなぜだったのだろう。どうして一度に同じ場所で拾わなかったのか。

（松村栄子『ひよっこ茶人、茶会へまいる。』より）

※ ML……著者が参加していた茶の湯のメーリングリスト。当時の正式名称は「ML茶の湯-Community」

問一 二重傍線部 a、b のカタカナを漢字に直したとき、それと同じ漢字を使うものを、次の各群の 1～4 からそれぞれ一つ選べ。

a	1	セイ廉潔白	2	セイ教分離	3	理路セイ然	4	セイ力伯仲
b	1	テイ念	2	行テイ	3	謹テイ	4	払テイ

aは解答欄(1)にマークすること
bは解答欄(2)にマークすること

問二 二重傍線部 x、y のカタカナを漢字に直したとき、それと同じ漢字を使うものを、次の各群の 1～4 から

それぞれ一つ選べ。

x	1	豊ジユン	2	血ルイ	3	ジヨウ財	4	ヨク土
y	1	年ポウ制	2	模ホウ犯	3	サイ促状	4	サイ権者

xは解答欄(3)にマークすること
yは解答欄(4)にマークすること

問三 波線部ア、イの類義語として、もっとも適当なものを次の各群の 1～4 からそれぞれ一つ選べ。

ア	1	ぼろりぼろり	2	ほろりほろり	3	ぼつんぼつん	4	ぼたりぼたり
イ	1	信書	2	信義	3	信念	4	信実

アは解答欄(5)にマークすること
 イは解答欄(6)にマークすること

問四

波線部ウ、エの意味として、もっとも適当なものを次の各群の1～4からそれぞれ一つ選べ。

ウ 1 丁重に手に取り 2 あわてず静かに

3 よろこび勇んで 4 しみじみした気持ちで

エ 1 かるがると 2 ゆっくりと

3 かさなりあつて 4 やつとのこと

ウは解答欄(7)にマークすること

エは解答欄(8)にマークすること

問五

空欄 A へ H に入るもっとも適当な語句はどれか。次の各群の1～4からそれぞれ一つ選べ。

A 1 ぼきぼき 2 ばたばた 3 ぼくぼく 4 ぱちぱち

B 1 あるいは 2 つまり 3 それどころか 4 それなのに

C 1 腕 2 手 3 歯 4 目

問六

問題文からは「痛かった?」と尋ねると「大丈夫」と彼は答えた。」という一文が脱落している。この一文があった場所は あ え のどこか。次の1～4から一つ選べ。

- 1 あ 2 い 3 う 4 え

解答欄(17)にマークすること

問七

傍線部①「さほど大きな川ではない」の説明として、もっとも適当なものを次の1～4から一つ選べ。

- 1 小畑川が桂川と比べて、たいして大きな川ではないということ
- 2 桂川が淀川と比べて、たいして大きな川ではないということ
- 3 小畑川が一般的な川のイメージと比べて、たいして大きな川ではないということ
- 4 淀川が全国各地の川と比べて、たいして大きな川ではないということ

解答欄(18)にマークすること

問八

傍線部②「してやったりである」の説明として、もっとも適当なものを次の1～4から一つ選べ。

- 1 何もかも思いどおりになって驚いている
- 2 自分のしたことが思いどおりになって満足している

問九

- 3 相手をうまくだますことができて笑いがこみ上げる
- 4 まるでだまされたような気がして困惑している

解答欄(19)にマークすること

傍線部③「意志のようなもの」に関する説明として、もっとも不適当なものを次の1～4から一つ選べ。

- 1 紅枝垂れの枝を拾ったとき、その枝の形を見て、茶杓になりたそうな形をしていると思った。
- 2 桜の枝を削って茶杓を造るとき、繊維に沿って素直に裂けていく竹とは異なる固さに桜の木の堅固な意志を感じた。
- 3 二本目の枝を見つけたとき、地面に落ちている枝の様子を見て、まるでわたしが来るのを待っていたようだと感じた。
- 4 桜の筒にするための枝を拾ったとき、その枝に向かって思わず「うちに来る？」と問いかけたところ、その枝が「行ってもいい」と返事をしたような気がした。

解答欄(20)にマークすること

二、次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

日本人は正義の味方が大好きだ。私も幼少の頃、ウルトラマン・シリーズに胸を A。「ウルトラマン」「ウルトラセブン」「帰ってきたウルトラマン」まで熱心にみた。「ウルトラセブン」に登場する地球防衛軍ウルトラ警備隊の格好良さは群を B。「帰ってきたウルトラマン」になると、地球防衛軍はなくなり、マット (MAT, Monster Attack Team の略称) という、いささかしょぼい組織に変わった。子どもの頃、なぜ組織が変わったのか分からなかったが、大学で政治学を学び、行政改革が断行されたのだと推測できるようになった。政治学を学ぶと知識が広がる。

ウルトラマンは日本代表正義の味方だ。ウルトラマンの正義は明快である。最初から明快な「悪」が設定されているからである。宇宙からのシン 略者 バルタン星人、地下から登場し街を破壊するレッドキングなど。人類ではとても対抗できない悪にイド ン で く れ る の が ウ ル ト ラ マ ン で あ る。

大江健三郎は、エッセイ「破壊者ウルトラマン」でウルトラマンの正義をキビしく批判した。大江が言うウルトラマンの問題点は多 キ に わ た る が、最大の批判点は次の点にある。環境破壊、核戦争、殺 戮 と い っ た 現 実 世 界 で 起 こ っ て い る 「 悪 」 に 対 し て、私たちはウルトラマンなしで、つまりスーパーパワーをもった外部からの援助なしに立ち向かわないといけない。この当たり前の想像力をウルトラマンは C の だ と 大 江 は 言 う。

本書で述べてきた、正義の問題はウルトラマン的な状況とは異なる^a。明快な「悪」が存在するわけではない世界。この世界で、私たちが無害な欲望追求を続けていくと、それが公共悪に転化し、この公共悪が地球上で最も弱い人に襲いかかるのだ。この「悪」の構図にウルトラマンの正義は残念ながら対抗できない。

^b現在の世界の正義を考える上で、有効な視点を提供してくれるのは、ウルトラマンではなくアンパンマンだろう。もちろん、アンパンマンの世界にも「悪」は登場する。ばいきんまん、ドキンちゃん、その手下のかびるんるんなどだ。ただ彼らの「悪」は、星の子をなめ回すとかパン工場をカビだらけにするといった、悪さにすぎない。そしてアンパンマンをはじめとした善意の人(?)^cたちに懲らしめられると、「ハヒフヘホー」と言って退散するだけだ。バイキンマンは毎回のように悪さをして、アンパンマンに懲らしめられる。性懲りもなく毎回登場する。バイキンマン自身もいびつな関わり方^dをしているが、実はコミュニティのメンバーなのだ。これらはクラスでの「いじめ」の世界を^eギ画化したものとも言える。「いじめ」にみんなで対抗したいという願望を反エイ^fしているのかもしれない。

アンパンマンの世界は、全員日本語を話しているが、異質者からなるコミュニティである。トースター山生まれのしょくぱんまん、旅の途上にあるハンバーガーキッドやどんぶりトリオなど、アンパンマンのコミュニティには別世界から来たキャラクターが多数登場する。そして、こうしたキャラクターたちにふりかかる悪や不幸に、みんなで力を合わせて対抗するというのが、アンパンマン物語だ。

絵本で登場したアンパンマンは、飢えた人に自分の顔（アンパン）を食べさせるというものであった。原作者のやなせたかしは次のように述べている。

「ほんとうの正義というものは、けっしてかっこうのいいものではないし、そしてそのためにならず自分も深く傷つくものです。そしてそういう捨身、献身の心なくしては正義は行えませんし、また、私たちが現在、ほんとうに困っていることといえば、物価高や、公害、飢えということで、正義の超人はそのためこそ、たたかわねばならないのです」

正義が自己 D を伴うのかという問題は正義論の論争点になるかもしれない。 ①、やなせの主張する正義が、哲学的な正義論とうまくつながるのかも議論の余地があるかもしれない。とはいえ、正義は現実の惨苦の状態にまず目を向けるべきだとの、やなせの直感 あ。現実の惨苦を改善するために、私たちはアンパンマンをつくることはできない。 ②、惨苦を改善する社会制度をつくることはできる。アンパンマンの世界のように、苦しんでいる人の苦しみに向き合おうとしている多くの人たちと力を合わせて。

苦しんでいる人に焦点を当てて、苦しみをもたらしている構造を改革すること。それを通して公平な状態を造り上げていくこと。現代社会で求められる正義（最低限の正義）はこれだと思う。構造を規制する制度を構築して、それを支えれば、支え合っている人たちの間に「さもしさ」^e はない。より良い制度を目指して努力をしたり、制度からこぼれ落ちてしまう惨苦を救うために自発的に活動をしたり、私たちがすべきことは、制度が機能して

もたくさんある。正義は欲望追求をやめることではない。正義の名の下、みんなが聖人 E になることでもない。欲望追求が思わざる形で生み出す公共悪を除去することに、正義の基本的な役割がある。それは私たちの欲望追求のあり方を少しずつ転換していくだろう。

^{注1} ボッゲが言う「地球資源税」^{注2} がかりに導入されれば、ガソリンの値段が上がるだろう（ボッゲの試算ではガロン＝約四リットルで数セント）。この税収によって世界の惨禍が緩和されることがわかっていても、私たちはガソリンの値段が上がることに文句を言うかもしれない。しかし正義の観点からは、払わないで済ませてきたコストを支払っているにすぎないと言える。正当なコストを払った上で、私たちは堂々と自分の欲望を追求すべきだ。それでも数セントが痛みだと思う人は、アンパンマンを読むことをお勧めする。

（伊藤恭彦『さもしい人間―正義をさがす哲学―』）

注1 ボッゲ・・・アメリカの哲学者でイエール大学教授

注2 数セント・・・一セントは〇・〇一ドル。一ドルを約一五〇円とすると日本円で一セントは約一・五円

問一

傍線部⑦⑧⑨⑩のカタカナ部分に相当する漢字を含む熟語を次の各群の1～4から一つずつ選べ。

⑦	1	シン透	2	シン攻	3	シン実	4	シン撼
⑧	1	キ跡	2	キ道	3	分キ	4	キ点
⑨	1	ギ人化	2	ギ能面	3	遊ギ会	4	地球ギ
⑩	1	防エイ	2	エイ像	3	繁エイ	4	エイ響

⑦は解答欄(21)にマークすること

⑧は解答欄(22)にマークすること

⑨は解答欄(23)にマークすること

⑩は解答欄(24)にマークすること

問二

傍線部⑪⑫のカタカナ部分の漢字を用いた熟語を次の各群の1～4から一つずつ選べ。

⑪	1	他社とキョウ合する	2	相手をチヨウ発する	3	敵を一シユウする	4	シヨウ負に賭ける
⑫	1	ナン解な問題	2	ゲン重事案	3	深コクな事情	4	チヨウ戒処分

⑪は解答欄(25)にマークすること

⑫は解答欄(26)にマークすること

問三

A	1	躍らせた	2	痛めた	3	反らせた	4	張った
B	1	超えていた	2	率いていた	3	極めていた	4	抜いていた
C	1	破壊した	2	肯定した	3	構築した	4	批判した

Aは解答欄(27)にマークすること

Bは解答欄(28)にマークすること

Cは解答欄(29)にマークすること

問四

1	転換	① ・ ②	
2	逆接	に入るもつとも適切な接続詞を次の1～4からそれぞれ一つずつ選べ。	
3	説明		
4	並列		

①は解答欄(30)にマークすること

②は解答欄(31)にマークすること

問五

傍線部 a を示すもつとも適切なものを次の 1 ～ 4 から一つ選べ。

- 1 行政改革が行われ地球防衛軍からマットに組織が変わった状況
- 2 悪が宇宙や地下から登場して町の破壊や人の殺戮を行う状況
- 3 無害な欲望欲求が次第に公共悪に転化し襲いかかる状況
- 4 環境破壊や核戦争などの悪が社会で起こっている状況

解答欄(32)にマークすること

問六

D

・

E

にあてはまる語を次の各群の 1 ～ 4 から一つずつ選べ。

- | | | | | |
|---|------|------|------|------|
| D | 1 犠牲 | 2 破壊 | 3 弁護 | 4 主張 |
| E | 1 主人 | 2 賢者 | 3 国王 | 4 君子 |
- D は解答欄(33)にマークすること
- E は解答欄(34)にマークすること

問七

傍線部 b の理由として最もふさわしいものを次の 1 ～ 4 から一つ選べ。

- 1 異質者で構成された社会で起きる明快な悪を解決するためにはアンパンマンの視点が有効だから

問八

傍線部 c、d の言い換えとしてもつとも適するものを次の各群の 1～4 群から一つずつ選べ。

c 1 遠慮することなく 2 躊躇することなく

3 反省することなく 4 臆病になることもなく

d 1 難しい 2 ふざけた

3 ゆがんだ 4 いじわるな

c は解答欄 (36) にマークすること

d は解答欄 (37) にマークすること

- 2 欲望追求が公共悪に転化する社会では力を合わせて悪に対抗するアンパンマンの視点が有効だから
- 3 現代社会では悪さが繰り返されているにすぎないからアンパンマンの視点で解決できるから
- 4 懲らしめられて退散しても毎回登場するような悪に対してウルトラマンの視点は無効だから

解答欄 (35) にマークすること

問九

あ

にあてはまるものを次の1～4から一つ選べ。

1 正しい

2 誤りだ

3 あいまいだ

4 ふさわしい

解答欄(38)にマークすること

問十

傍線部e「さもしさ」の形容詞「さもしい」を使った文章でふさわしくないものを次の1～4から一つ選べ。

1 さもしい自慢話で人々を騙そうとするのは許せない。

2 さもしい笑顔で近づいてくる人には注意が必要だ。

3 さもしい天候に惑わされて雨に降られてしまった。

4 貧しいからさもしい心が起きるといふのは過ちだ。

解答欄(39)にマークすること

問十一 筆者が伝えたいこととしてもっともふさわしいものを次の1～4から一つ選べ。

- 1 現代社会における諸問題を解決するためには、ウルトラマンとアンパンマンの両方の視点が求められ、苦しんでいる人に焦点を当てた社会制度の構築と力を合わせて戦うことが必要である。
- 2 欲望欲求により予期せず生み出される公共悪を除去することに正義の役割があるのだから、欲望欲求をやめるのではなくそのあり方を転換していくことが重要である。
- 3 真の正義とは、現実の惨苦に目を向けアンパンマンのように戦う正義の超人を生み出すことであり、現状を改善する社会制度を創り出すことに注力することである。
- 4 正義とは捨身や献身なくしては行えないのだから、世界の惨苦が緩和されるであろう地球資源税の導入を認め、正当なコストを文句を言わずに支払うべきである。

解答欄(40)にマークすること

以上で問題は終わります。

一般入試Ⅱ期 解答

国語 一般入試Ⅱ期

大問	解答番号	解答	大問	解答番号	解答
一	1	2	二	21	2
	2	4		22	3
	3	1		23	3
	4	3		24	2
	5	3		25	2
	6	3		26	2
	7	2		27	1
	8	4		28	4
	9	1		29	1
	10	2		30	4
	11	3		31	2
	12	2		32	2
	13	4		33	1
	14	1		34	4
	15	2		35	2
	16	3		36	3
	17	4		37	3
	18	3		38	1
	19	2		39	3
	20	2		40	2